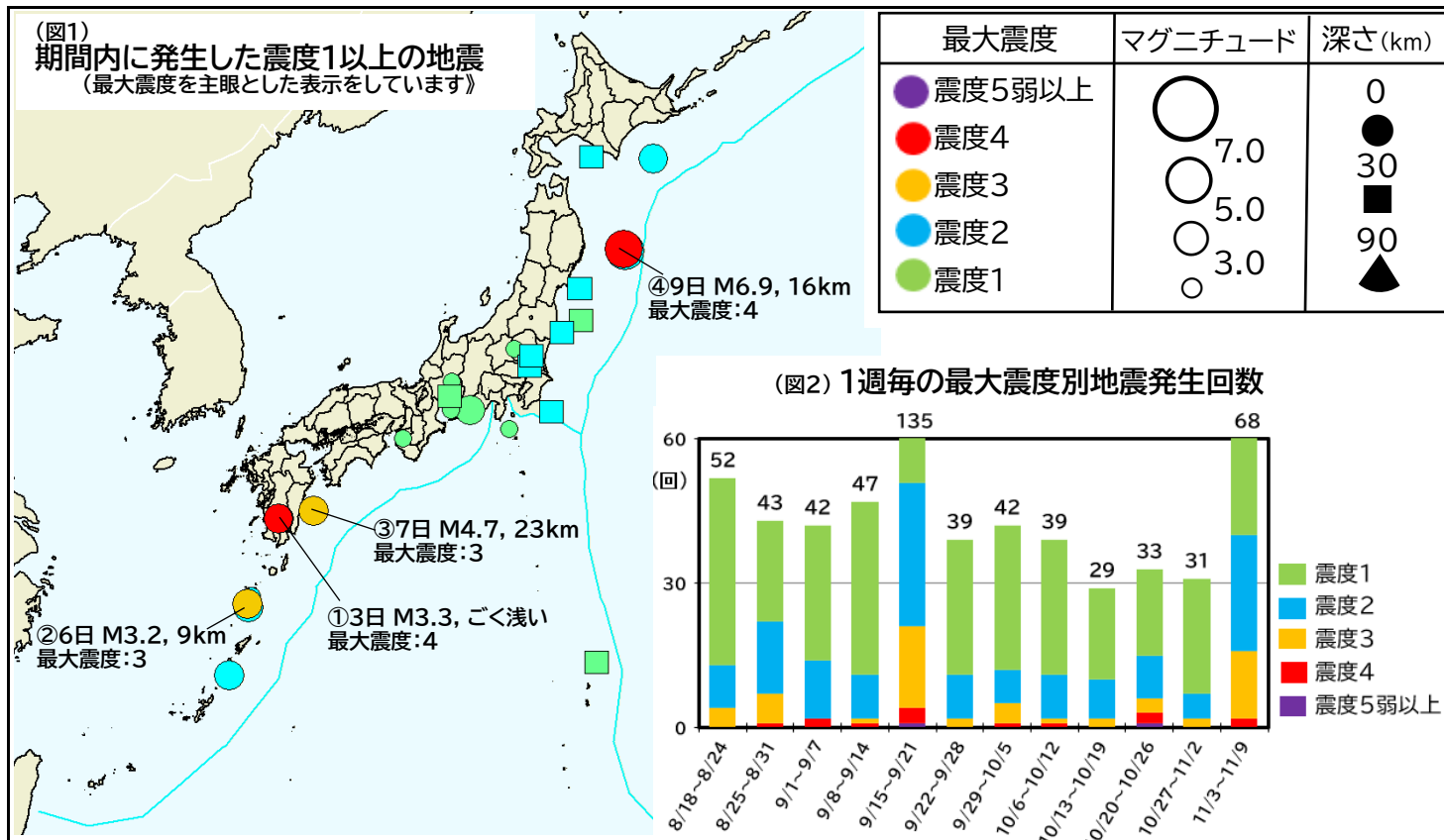


この期間の最大震度は4 三陸沖の地震により津波観測

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が68回発生。最大震度は4。三陸沖の地震により津波観測 ■
- ①11月3日19時18分に鹿児島県薩摩地方で発生した地震(M3.3、ごく浅い)により、鹿児島県霧島市(鹿児島空港)で震度4を観測したほか、鹿児島県と宮崎県で震度3~1を観測。このほか、同日に同地域で発生した地震により震度3が5回、震度2が5回、震度1が6回発生。
- ②11月6日07時54分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.2、深さ9km)により、鹿児島県十島村悪石島で震度3を観測。
- ③11月7日01時23分に日向灘で発生した地震(M4.7、深さ23km)により、宮崎県美郷町で震度3を観測したほか、九州地方と高知県の一部で震度2~1を観測。
- ④11月9日17時03分に三陸沖で発生した地震(M6.9、深さ16km)により、岩手県盛岡市・矢巾町、宮城県涌谷町で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけての広い範囲で震度3~1を観測。岩手県内で10センチから20センチの津波を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 三陸沖の地震活動 ■

- ・9日に震度4(M6.9)を観測した地震の震央付近では、今月4日頃から地震活動が目立つようになっていました。震度4の地震以降に、10日13時までに震度1以上を観測した地震は、震度3が5回、震度2が5回、震度1が8回、計18回発生するなど、活動が続いています。
- ・この付近は、定常的に地震活動が活発な地域(図3)で、M7クラスの地震も度々発生しています。今年11月1日以降の地震発生状況を図4に示しました。
- ・地震のタイプは、この付近で多く見られる陸のプレートと沈み込む太平洋プレートの境界で発生した逆断層型の地震です。
- ・この地震により岩手県内で津波が観測され、久慈港と大船渡港で、それぞれ20センチ、釜石港と宮古港でそれぞれ10センチの津波を観測しました。
- ・地震活動が続いていることから、しばらくの間は、海岸付近で揺れを感じたら津波発生を想定して、速やかに海岸から離れるよう注意して頂きたいと思ひます。

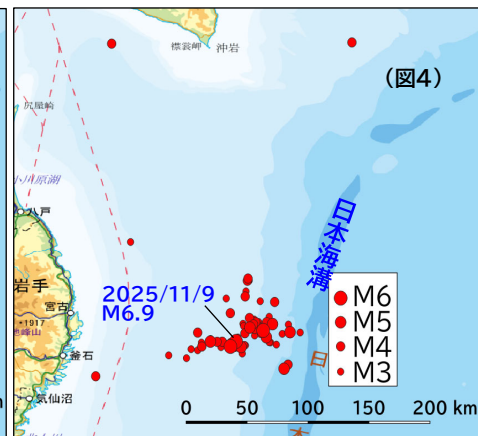
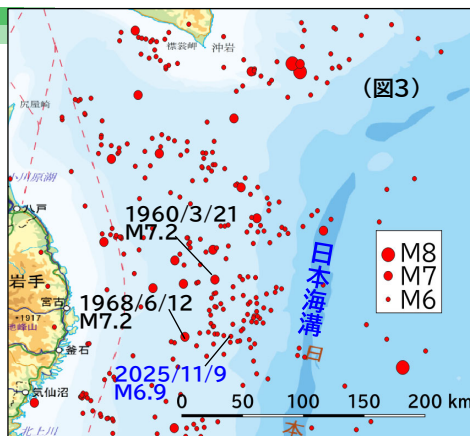


図3:震央分布図1919/1/1 --- 2025/11/9 M $\geq$ 6.0

図4:震央分布図2025/11/1 --- 2025/11/9 M $\geq$ 3.0

(11/9の震源データ(M6.9以外は)防災科研Hi-netのWEBサイトによる)
背景地図は国土地理院